

送辞

在校生代表

曾根本 恵利

厳しい寒さも少しずつ和らぎ、春めく日差しの中
に佇む新校舎も、より一層美しく映える今日この
瞬間です。

本日、晴れて北高を卒業される三年生の皆様
本当におめでとう申し上げます。在校生を代表して
心よりお祝い申し上げます。

振り返りますと、勉強や部活動だけではなく、ほ
のぼの行事や体育祭、そして学校祭などの行事にも
一生懸命打ち込む先輩方を見て、私たちは自らの
目指すべき姿を思い描いて来たように思います。先
輩方は、それぞれの活動の折々に私たちに色々と
教えてくださったばかりでなく、より良い方向を示
してくださったり、至らないところをさりげなくフ
ォロしてくださったりもありがとうございました。

めねは一年生の終わりの頃のことです。北高祭実行
委員会の行灯の担当者として作った、マニュアルのチエ
ックを何人かの先輩にお願いしたことがありました。
数日後、手渡されたプリントには赤い書き込みが実
に丁寧しかもびっしりと書かれてありました。北
高祭を一度経験していただくとはいえ、まだ知らないこ
との多い一年生だった私にとって、先輩からの書き
込みのアドバイスは心から嬉しく、またとても心強
く思いました。また、行灯の制作期間に入ってから
は、やり方が分からず質問に来た下級生に実際に
手本を見せてくださったり、時には下級生のメン
トまで出向いてアドバイスをされる姿を幾度も見か
けました。

この大切な先輩方の優しさを真剣さが、私たち後
輩をしっかりと導いてくださったのを改めて思いつ
つ。

昨年、旧校舎の半分が取り壊され、その跡地に新
校舎の半分が建てられました。校舎の新しい形のめ
るものはいつかは壊れ、消えて行くものです。しかし
皆さんは北高の伝統、すなわち、寛容、進取、良識
の校訓の精神に基づく北高の文化を立派に引き継
ぎ、さらに素晴らしきものへと発展を遂げてくださ
りました。

本日より、私たち一二年生がその伝統をいつか
りと受け継ぎ、より良いものになりますように精
一杯努力して参りますことをお約束致します。

皆さんは自らが選んだ新たな道の期待に胸を膨
らませる一方で、通い慣れた母校を旅立しようと一
抹の寂しさも感じていらっしゃるでしょう。思い
出のたくさん詰まった旧校舎もあとわずかで全
て建て替えられてしまいます。しかし、皆さんがこ
の学び舎で学んだことはいつまでも皆さんを支え続
けてくれるはずです。何よりも、かけがえのない
仲間たちとの思い出は消えることはないと信じてい
ましょう。

ぜひ皆さん、北高生であったことを誇りとして
自分の信じる道をどうまでも自分らしく歩んで行っ
てください。私たちも力いっぱい先輩方の後を歩ん
で参ります。

最後になりましたが、皆様の今後の活躍とます
ますのご発展を心よりお祈りし、送辞と致しま
す。

平成十八年二月一日

父母と先生の会「広報誌

北高だより」第七十二号

平成十八年二月一日